

—学校教育目標—

豊かな心をもち

自ら学ぶたくましい子

- (1)よく考えねばり強く学ぶ子
- (2)心豊かで思いやりのある子
- (3)すすんで体をきたえる元気な子

学校便り

第39号

仲井真っ子

H31年2月6日(水)

那覇市立

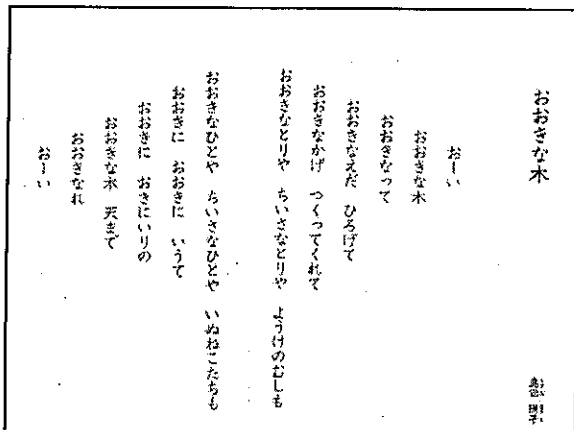
仲井真小学校

発行責任者

校長 宮里 寧

TEL 917-3330

音読・音楽朝会！4年生の舞台発表！！

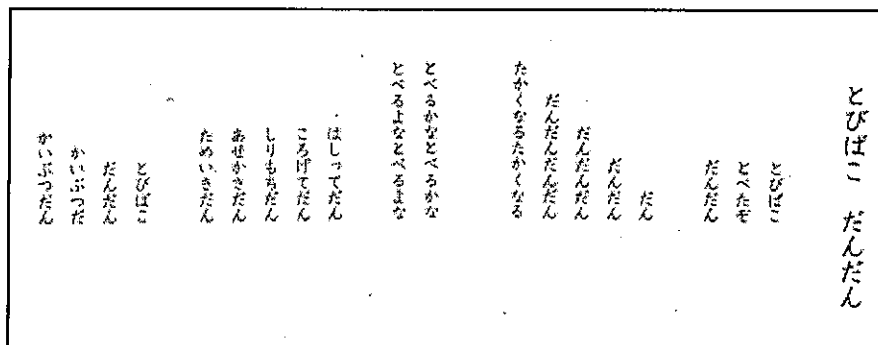


本日6日(水)に体育館で、「音読・音楽朝会」がありました。4年生が2つの詩を紹介してくれました。島田 陽子さんの『大きな木』と、藤 哲生さんの『とびばこ だんだん』です。

まずはじめに『おおきな木』を呼びかけるような感じで読んでくれました。

4年のきみ江先生、俊介先生、絵美先生、彩先生からは、こんなメッセージをいただきました。「ふだん、なにげなく目にしているものでも詩人の目を通すと、ものの見方や考え方、視点を変えることで違った姿を現して、生命が吹き込まれます。日常の中で見過ごしたり忘れられていたりしているものにあらためて目を向け、新たな視点から光をあてることを大切にしたい。」「そうした活動をとおして、『驚き』や『発見』、ものを見つめる目の豊かさと広がりを楽しむ。」「ということでした。

今日は、4年生全員が新しい詩の世界に出会って楽しんだので、仲井真っ子のみんなにぜひ紹介したいということでした。「とびばこ だんだん」は、4年生の国語の教科書に、下のように掲載されています。



この詩の授業を前に参観したことがあります。先生が子どもたちに、こんなことを聞いてました。「この詩の話し手は、大人ですか、子どもですか。」「子どもです。なぜなら、ひらがなだけで書かれているからです」「この詩は、でこぼこしています。これは何を表していますか。」「とびばこの様子です」「行の高さがとびばこを表しています」「この詩に何度も出てきている言葉は何ですか。」「だん」「たかくなる」「とべるかな」「とべるよな」「かいぶつ。」「話者(話し手)がとびばこをとぶことができたわかるのは何連ですか。」「一連です、なぜなら、一連で「とべたぞ」と書いてあります」「二連からあとは、とべたかわかりません」「作者はみなさんに何を伝えたのだと思いますか。」「あきらめないで挑戦すること」「人間とは挑戦である」「人生とは挑戦である」・・・